

【令和2年度 中小学校 研究構想図 3か年計画の2年目】

【学校の教育目標】 学び合う子 心豊かな子 元気な子
かしこく やさしく たくましく

【めざす児童の姿】

- ・前時までの学習や類題などと比較したり関連付けたりして考える。
- ・気付いたことや困ったことから、課題を設定して取り組む。
- ・問題解決のための基礎基本を身に付け、粘り強く取り組む。
- ・仲間と話し合い考えを深める中で、「よりよい解決の仕方」を求める。

【児童の実態】

- 学級のどんな仲間とでも、分け隔てなく関わることができる。
- 指示や与えられた課題に対して積極的に取り組むことができる。
- △自ら課題を見つけて取り組むことに弱さが見られる。
- △仲間と関わって課題を解決しようとする姿があまり見られない。

【研究主題】

仲間と共に主体的に学び合う子の育成

～数学的な見方・考え方を働かせながら、仲間との対話を通して自分の考えを確かにする児童を目指して～

【研究仮説】

(1)～(3)の指導をすることで、自分の考えを確かにすることができ、主題に迫ることができる。

- (1) 気付きや困り感を引き出し、解決する意欲につなげる導入をすること
- (2) 仲間との対話を意図的に仕組み、自分の考えの根拠を明らかにすること
- (3) 課題を仲間との対話を通して解決できたことを実感させること

【研究内容】

- (1) 気付きや困り感を引き出し、解決する意欲につなげる導入をすること
 - ① 気付きや困り感を安心して話せる学習基盤を確立する
 - ② 数学的な見方・考え方を働かせて問題を捉えさせる
 - ③ 教師の発問や説明を精選する
- (2) 仲間との対話を意図的に仕組み、自分の考えの根拠を明らかにすること
 - ① 児童の意識やつぶやきを生かした授業展開をする
 - ② 全体追究で自分の考えが確かになるような問い返しをする
- (3) 課題を仲間との対話を通して解決できたことを実感させること
 - ① 自分の考えが確かになった思考の過程や根拠を問う
 - ② 仲間との対話によって自分の考えが確かになった児童を全体に広める